

カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌（CPE）のアウトブレイクについて

令和7年2月4日

この度、小牧市民病院でカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌（Carbapenemase-Producing Enterobacteriaceae: CPE）のアウトブレイクが発生したと判断しましたのでお知らせします。

当院では、2024年7月から2025年1月にかけて6名の入院患者さんからCPEが検出されました。このうち5名は保菌のみでしたが、1名は感染症と診断されて治療を受け、その後は回復して治療を終了しております。

今回のCPEの検出に関して院内で検討しましたところ、病棟や時期は異なり散発性ではあるものの、予想されるよりも多くの検出数であることから、アウトブレイクとして対応すべき状況と判断しました。当院としては感染予防策を実施し、感染拡大を生じないよう努めてきたところですが、皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今後は、管轄保健所および感染症専門医のご指導のもと、患者様の安全を最優先とし、職員一丸となって感染防止に努めてまいります。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

小牧市民病院

病院長 谷口 健次

※アウトブレイク（集団感染）

一定期間、特定の場所、特定の集団で特定の微生物や薬剤耐性菌が予想されるよりも多く検出されること

※保菌

細菌を保有しているが、感染症として発症していないこと